

日本医師会 新型コロナウイルス感染症対策実施医療機関 「みんなで安心マーク」が発行されました

患者さんに対して医療機関が感染防止対策に取り組んでいることを示すため、日本医師会が示す「感染防止対策チェックリスト」のすべての項目を実践していると回答した場合に発行されるマークです。

No.0012725



院内における新型コロナウイルス 感染症対策チェックリスト

- 職員に対して、サーボカルマスクの着用、手指衛生を適切に実施しています。
- 職員に対して、毎日(朝、夕)の検温等の健康管理を適切に実施しています。
- 職員が身体の不調を訴えた場合に適切な対応を講じています。
- 患者、取引業者等に対して、マスクの着用、手指衛生の適切な実施を指導しています。
- 発熱患者への対応として、事前に電話での受診相談を行う、または対応できる医療機関へ紹介する等の対策を講じています。また、発熱患者を診察する場合には、時間的または空間的に動線を分けるなどの対策を講じています。
- 受付における感染予防策(遮蔽物の設置等)を講じています。
- 患者間が一定の距離が保てるよう必要な措置を講じています。
- 共用部分、共有物等の消毒、換気等を適時、適切に実施しています。
- マスク等を廃棄する際の適切な方法を講じています。

日本医師会
Japan Medical Association

協力: 厚生労働省

社会医療法人財団慈泉会 相澤東病院

チェックリストに準拠した取り組みの一例

- 全職員が、出勤時と退勤時に検温・体調確認しています。
※ 出勤前に体調不良があれば、速やかに所属長に連絡をして、所属長の指示にて対応しています。

- 受付における感染予防策(遮蔽物の設置等)を講じています。



防護フィルムを設置しました

- 患者間が一定距離が保てるよう必要な措置を講じています。



狭い待合室ですが、一席ずつ離して距離を保つようにしました。

これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用としていましたが

令和5年3月13日から

マスク着用は個人の判断が基本となります

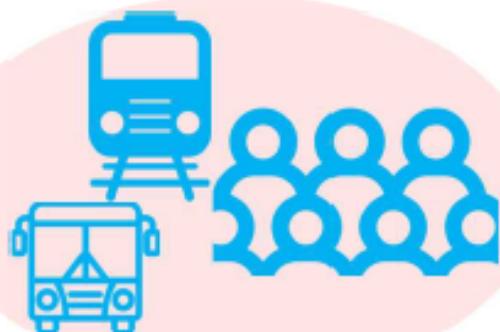
ただし、以下のような場合には注意しましょう

周囲の方に、感染を広げないために

マスクを着用しましょう



受診時や医療機関・
高齢者施設などを訪問する時



通勤ラッシュ時など混雑した
電車・バスに乗車する時

ご自身を感染から守るために

マスク着用が効果的です



高齢者



慢性肝臓病
がん
心血管疾患 など



妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、
個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合や従業員がマスクを着用している場合があります